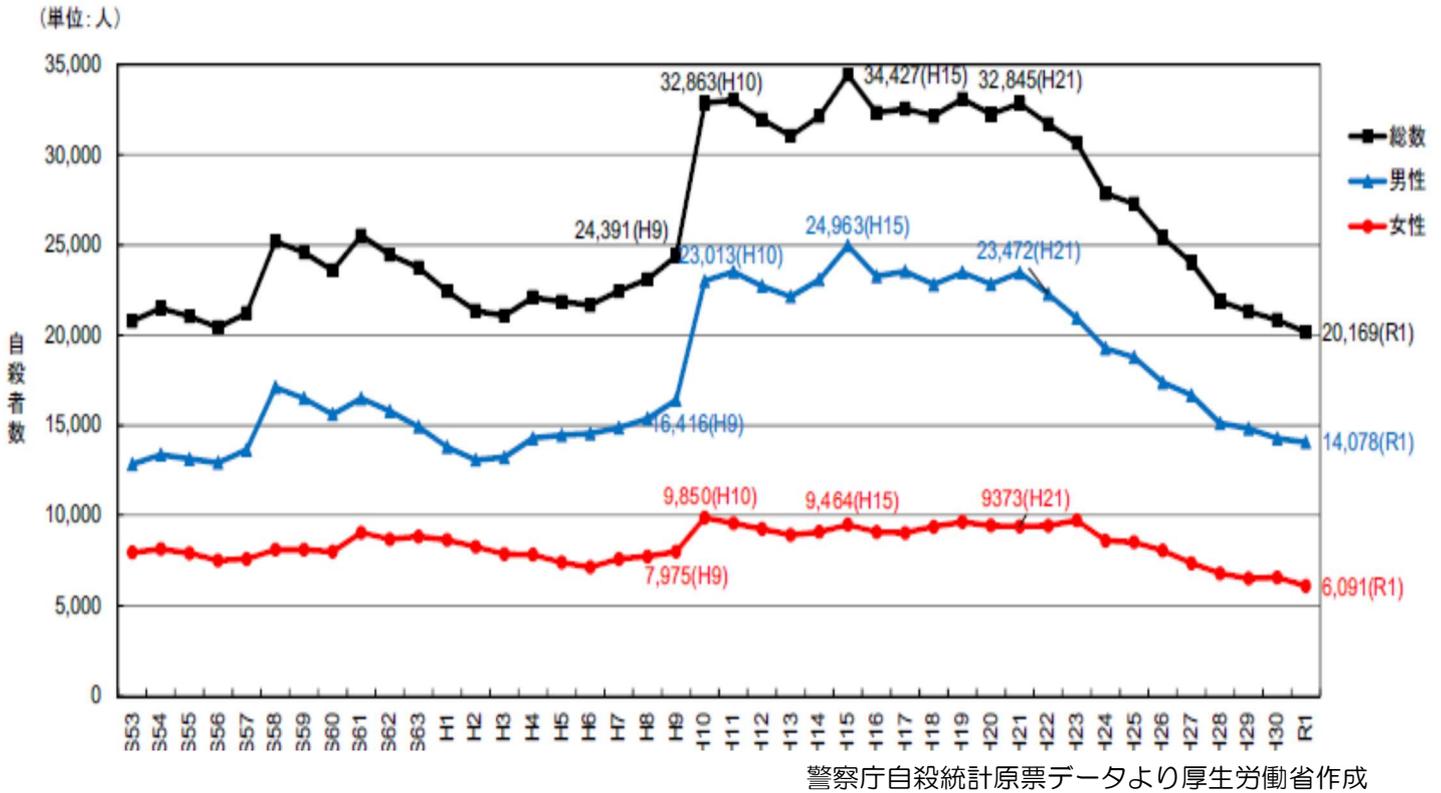


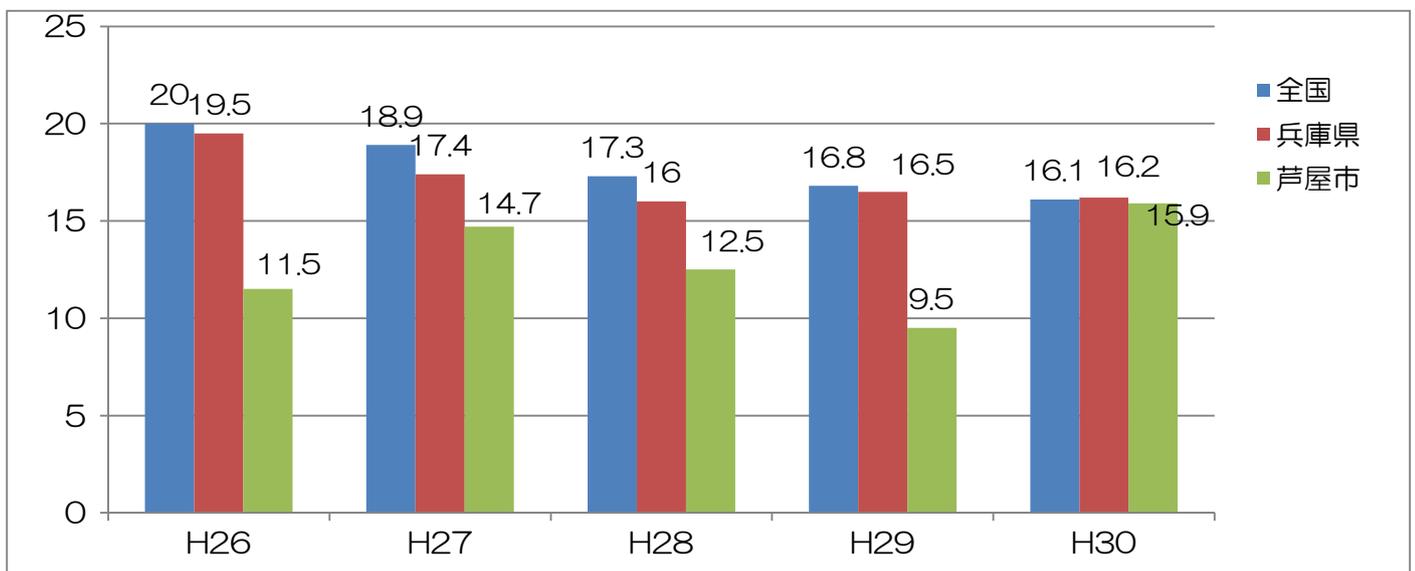
1 全国の自殺に関する状況



○平成 30 年の自殺者数は 20,840 人となり、昭和 56 年以来、37 年ぶりに 2 万 1,000 人を下回った。また、令和元年の自殺死亡者数は、20,169 人となり、平成 22 年以降 10 年連続の低下となっている。また、平成 30 年度に続き、過去最少を更新している。

○男女別にみると、男性は 10 年連続の減少となっている。また、男性の自殺者は、女性の約 2.3 倍となっている。

2 全国、兵庫県との自殺率の比較



人口動態統計による自殺率を参考に作成

3 芦屋市の自殺に関する状況(地域自殺実態プロフィールより引用)

① 自殺者数の推移

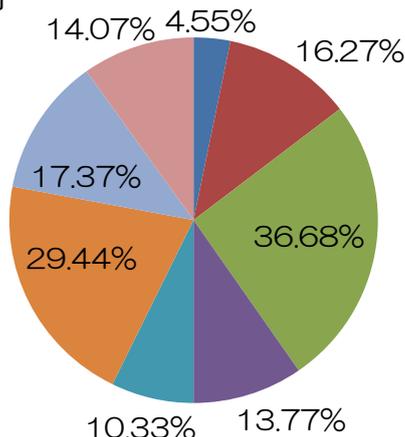
	H26	H27	H28	H29	H30	合計	平均
人口動態統計 自殺者数	11	14	12	9	15	61	12.2

地域自殺実態プロフィールより

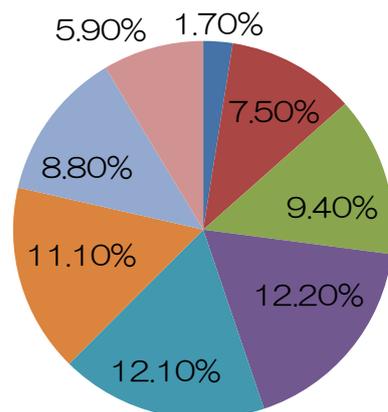
② 自殺者の性別，年齢別割合(平成 26 年～平成 30 年合計)

男性

芦屋市

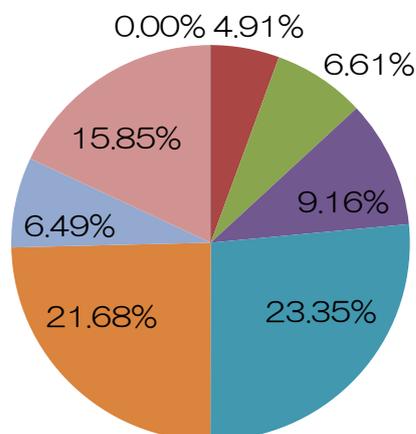


全国

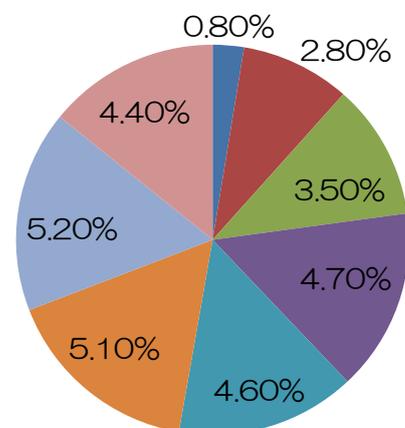


女性

芦屋市



全国



③ 地域の主な自殺の特徴(平成 26 年～平成 30 年合計)

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:女性 60歳以上無職同居	9	13.6%	16.1	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
2位:男性 60歳以上有職同居	7	10.6%	28.8	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺/②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺
3位:女性 40～59歳無職同居	7	10.6%	16.6	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
4位:男性 20～39歳無職同居	5	7.6%	60.6	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺/②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
5位:男性 60歳以上無職独居	4	6.1%	70.8	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順

*自殺死亡率の母数(人口)は平成 27 年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書 2013(ライフリンク)を参考